



地材地消

北海道の木で、 北海道の暮らしを もっと安心・快適に。

地元の木材が 眠ったままでは、 森も暮らしも 成長できません。

北海道は土地面積の約7割が森林で、全国の森林の4分の1を占める、森の大地です。その森林のうち、約3割は人の手によって管理している「人工林」。その約9割7分は北海道を代表する針葉樹であるトマツやカラマツ。これらの木は成長が早く加工しやすいため、住宅建材などに活用されています。人工林



34年間で
5.4倍に

では苗木を植栽し、下草刈りや間伐などの手入れを行い、成長した木を伐採して主に木材として利用し、再び苗木を植えて育てて北海道の人工林は、34年間で木材の蓄積が5.4倍に増加。こうした状況の背景には、安価な海外木材の輸入増加によって地元の木材資源が有効に使われていない現状があります。このままでは森林サイクルが滞っていい木が育たなくなり、質の良い木材が北海道に出回らなくなってしまうかねません。

地域で作った地域で使う。「地産地消」の発想は、食材だけでなく木材にも当てはまります。北海道の木材を生かした北海道の暮らしについて、あらためて考えてみませんか。

経済・環境・暮らしに いいこといっぱい！ 「地材地消」という発想。

かつて夕張など道内の炭鉱は、北海道で切り出されたカラマツが坑木として使われていました。樹脂が多いカラマツは丈夫で腐りにくく、地中の坑道をしっかりと支えるのに適していたのです。その一方、カラマツは回転しながら成長するためねじれや反りが出やすく、住宅建材としては敬遠されてきました。しかし近年、北海道立林産試験場が優れた乾燥および加工技術を開発。強度が高く、狂いの少ないカラマツ

建材を住宅に用いることが可能になりました。北海道の木を使って北海道の家を造る。実はこれがとても大切なことなのです。現在広く流通している安価な海外木材には、違法伐採された産地不明の木材が多く、法的にも品質的にも問題があります。また、世界の森林減少に拍車をかけている現実も無視できません。さらに輸送時間が長いと、有害成分の揮発によって、人体への影響が心配されます。一方、北海道の木は産地が明確な合法木材であり、短時間で輸送できるため防霉剤が不要です。

だから安心して家造りに使えて、健康的な住空間が生まれます。北海道に蓄積している木材資源を北海道の家造りにどんどん活用すれば、住宅産業とともに林業や木材産業も活性化。木を育てたり加工したりする人の雇用が生まれ、さらに質の良い木が道内に流通するようになり、森林とともに北海道の経済も豊かに潤っていきます。北海道の木は、北海道の暮らしにも経済にも環境にもいいこといっぱい！地域で生産された木材を地域で消費する。「地材地消」の発想で、北海道の木を積極的に活用していきたいものです。

地材地消について、関わりの深いお二人からお話を伺いました



株式会社 木の城たいせつ 専務取締役
吉村直巳さん

北海道の木ならではの安心感。 それが「地材地消」の価値です。

世界最古の木造建築である奈良の法隆寺には地元の吉野ヒノキが、国の重要文化財である沖縄の中村家住宅には地元のチャージ(イヌマキ)が使われています。その土地の建築にはその土地の木が最適であることを、古くから日本人は心得ていました。北海道にもカラマツやトマツ、北海道の杉といった、素晴らしい木があります。とくにカラマツは、高度な木材加工技術によって構造体に適した強度と品質を実現。トマツや道南杉は軽くて空気を含みやすく、内装に使うと見た目にも体感的にも暖かさを実感できます。「北海道の木を使って北海道の家を造る」という選択は、ごく当然といえるでしょう。

食の安全が問われる昨今、産地がはっきりして新鮮な地産の食材を食べる「地産地消」は当たり前になりました。それは「住の安全」にもいえること。いつどこで切り出されたかわからない輸入木材に囲まれた住空間で、防霉剤が揮発して空気を吸いながら、長い人生を安心して暮らしていくことができるでしょうか。厳しい気候風土に耐えて成長する強さを備え、防霉剤無添加で加工された北海道の木に守られて暮らす安心感。これが「地材地消」の価値なのです。当社は道産材100%住宅を通して、本当に安心して暮らす北海道の皆さまへお届けしてまいります。



北海道木材産業 協同組合連合会 副会長
三村龍圓さん

北海道の木で作った住宅には、 金利優遇などのメリットも。

国および北海道では、木材や木材製品の産地や合法性を証明する「合法木材証明制度」を導入しています。また、道木連ではJAS認定を受けた道産材を使用した住宅建設を「北の木の家」として認定。住宅ローン金利の優遇措置を設けています。きちんと管理されている北海道の木だからこそ安心して健康的な住空間と金利メリットを提供でき、木材関連産業の活性化にもつながります。木材や木材製品を選ぶ際には、合法木材証明やJAS認定をぜひチェックしていただきたいですね。平成25年度からは国産材を使った住宅を対象としたエコポイント制度も開始予定。「地材地消」にますます注目が集まりそうです。

今できること、「考える」から「行動する」へ！ ▶詳細は北海道エコ・アクションのホームページで [北海道エコ・アクション](#) 検索 企画制作/北海道新聞社広告局

木の城たいせつ 道産材100% シリーズ 第2弾

香りただよる 北海道の杉の家

木の城たいせつ「道産材シリーズ」第2弾は、北海道の杉を使用しています。杉は日本古来より建物に多く使われて来た日本人に馴染みのある木材です。断熱や調湿の効果があり、ただよる杉の香りにはリラックス効果もあります。輸入材は長時間の輸送の際に、木材が腐ってしまうように防霉剤などを大気に散布しますが、北海道の木材は輸送時間が短く防霉剤を使用しないため、室内の空気品質が良質です。「安心・安全・健康」な北海道で育った杉の家の提供を目指します。

- POINT1 『日本の杉』**
杉は日本古来より建物に多く使用されて来た、日本人になじみのある木材です。
- POINT2 『香り』**
杉の独特な香りには、リラックス効果と快眠効果があると言われています。
- POINT3 『調湿効果』**
杉は空気中の湿度が高いときは水分を吸収し、低いときには放出してくれます。
- POINT4 『断熱効果』**
杉の新築効果により、杉をふんだんに使用した家は夏は涼しく、冬は暖かく感じられます。

道産材100% シリーズ 第2弾 特別企画!

抽選!

北海道の杉の家

限定1棟980万円

詳しくはお電話にてお問合せください!

フリーダイヤル **0120-146-172**

FAX・MAILでお申し込みの場合は「住所、氏名、年齢、電話番号、職業、家族構成」をご記入の上お送りください。FAX【011-781-7320】/MAIL【kinashiro@kinashiro.com】
※お預かり致しました個人情報は、当社が責任をもって管理し、本件以外に使用致しません。

応募期間【2013年5月31日必着】抽選結果【6月1日WEBにて発表】
※上記の抽選は本誌掲載となっており、海外転送料・納付工事・諸費用などは含まれておりません。※応募金額の場合は1029万円となります。※当社指定プランでのご提供となります。

株式会社 木の城たいせつ 本社
〒069-1592 夕張郡栗山町旭台1番地58
TEL:0123-73-3600 / FAX:0123-73-3601
建設業許可番号(般-21)空第03525号

株式会社 木の城たいせつ 札幌営業本部
〒007-0848 札幌市東区北48条東19丁目2番5号
TEL:011-781-7310 / FAX:011-781-7320
宅地建物取引業免許番号 空知(1)第482号